

レインボー名張っ子

子どもの体験活動情報誌

〔発行〕なばり子ども情報センター

〒518-0492 名張市鴻之台1-1
 名張市教育委員会文化生涯学習室内
 Tel 0595-63-7892 Fax 0595-63-9848
 http://www.e-net.or.jp/user/pta/barikko
 X-ール: syougaigaku@city.nabari.mie.jp



なばり探偵団調査③ やばたゆみ 八幡の弓ひき神事

なばり 名張に伝わる昔話

名張にはいろんな地域にたくさんのお話があります。「なばりの昔話」に「続・なばりの昔話」という本がたくさん収められています。今回は「八幡の弓名人」というお話です。八幡宮で行われている弓ひき神事について調べてきました。

今回は、ふるさと学習「なばりがくしゅうしりょうしゅうじょうかん学」学習資料集（上巻）のP18～19だよ！



「鬼」と書いた的に矢を射ることで悪いものを退治し、人々の健康と幸せ、農作物の豊作をお祈りします。



昔々の正月十七日、八幡村の若者たちが京都へ遊びに出かけました。愛宕神社でお侍が弓の練習をしていましたが、いつかここに当りません。八幡村の甚平が「なあんや、なかなかあたらずにへんやないか」とつぶやいたのがお侍に聞こえ、怒ったお侍に「それだけ言うのならこの弓の的を射てみよう。当たらないければ命をもらおう」と言われ、甚平は困りましたが、仕方ない

「八幡の弓名人」はどのようなお話なのでしょう。簡単に紹介します。

やばたゆみめいじん 八幡の弓名人

「弓ひき神事」は、地主さんと地域の代表10人でやられます。20メートル先の「鬼」と書かれた的を射て順番に矢を射ていき当たれば終わりです。なかなか当たらないければ距離を15メートルにします。当たったあとは見物の人にも弓をひかせてもらえます。探偵団のお友だちも挑戦しましたが当たりませんでした。

「弓ひき神事」は、地主さんと地域の代表10人でやられます。20メートル先の「鬼」と書かれた的を射て順番に矢を射ていき当たれば終わりです。なかなか当たらないければ距離を15メートルにします。当たったあとは見物の人にも弓をひかせてもらえます。探偵団のお友だちも挑戦しましたが当たりませんでした。

「鬼」と書いた的に矢を射ることで悪いものを退治し、人々の健康と幸せ、農作物の豊作をお祈りします。

あ 当たるまで続ける

～探偵からの調査報告～



やましたようじたんてい こもはらしょうねん
▲山下陽司探偵（薦原小6年）
 普段の生活で弓をひくことがないので緊張しました。また来年も参加したいと思います。

やばいそらたんてい ひなちしょうねん
■藪井富天探偵（比奈知小5年）
 弓を使うのは初めてだったので難しく、矢も飛ばなかったけど、2回目にはちゃんと飛ばせて楽しかったです。▼



かなやまりおたんてい こもはらしょうねん
▲金山莉緒探偵（薦原小2年）
 地域の方の弓をひく姿がカッコよかったです。



《調査ファイル》

三重県立名張高等学校の郷土研究部の生徒たちが、市内のお年寄りなどを訪ねて、名張に伝わる昔話を集めました。それらをまとめて、1981年に「なばりの昔話」が、1984年に「続・なばりの昔話」が発行されました。『八幡の弓名人』は「なばりの昔話」に収録されています。この2冊は、名張市立図書館で借りることができます。名張市教育センターでは閲覧が可能です。学校の図書室にはあるところとないところがあるようです。

